

財団の目的と事業・研究の領域

三菱グループにより設立された当財団は、調査・研究活動を通じて高齢社会の保健、医療、福祉などの課題解決をめざし、公益に寄与しています。



公益目的事業

主な研究・調査活動（2019年度）

〔ダイヤ財団主管研究〕

- 多面的な QOL 指標を含む科学的介護のデータベース構築
- 介護予防系事業のエビデンスを蓄積する共同研究
- 要介護高齢者の残存能力を最大化する住環境評価尺度に関する研究
- 訪問看護師と協同で行う訪問介護員のための看取り学びシステムの構築
- WEB を活用した会員参加型セルフチェックシステム構築に関する研究
- 認知機能が低下した高齢者に対する就労支援に関する研究
- こころの健康づくりにおける自主活動を継続するための支援のあり方に関する研究
- WEB を活用したメンタルヘルスの改善に関する介入実証研究
- 都市高齢者の社会関係周縁部に関する研究
- 高齢期の社会的自立維持に ICT の果たす役割に関する研究
- ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究
- 50 代・60 代・70 代の老後資金等に関する調査
- 老親介護が就労者に与える影響等に関する調査

主な普及・広報活動（2019年度）

講演会・シンポジウム
などイベント開催

研究論文・研究報告書・
学会発表

機関誌『Dia News』・
調査報告書などの発行

社会老年学文献データ
ベース「DiaL」の提供

うつ予防プログラム
「ハッピープログラム」

シニアが楽しむエアロ
ビック「ダイヤビック」

収益事業等

調査研究を通じて得られた知見、技術等を活用して行う受託事業及び高齢社会の諸問題に関するテキスト、教材等の有償頒布等

賛助会員関連団体が行う高齢者による社会貢献活動に対する協力及び支援